

慶應義塾大学 総合政策学部、環境情報学部、政策・メディア研究科
国際戦略・韓国地域研究 教員募集

総合政策学部、環境情報学部、政策・メディア研究科は、国際戦略と韓国地域研究を横断する分野を専門とする教員を募集します。

なお、慶應義塾は、「協生環境推進憲章」に基づき、ダイバーシティの実現を推進しています。教員採用の人事審査において、年齢・性別・SOGI（性的指向・性自認）・障害・文化・国籍・人種・信条・ライフスタイルを理由とするいかなる差別も行わないことを申し合わせています。また、慶應義塾では男女共同参画を推進しています。

募集要項

1. 機関名・部署名

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (SFC) 総合政策学部

2. 所在地

神奈川県藤沢市遠藤 5322

3. 職種

専任教員、教員（有期）または教員（有期・テニュアトラック）

（職種・職位は業績等により決定）

4. 待遇

給与等は慶應義塾の規程に基づき、年齢・学歴・職歴等により決定

社会保険加入、通勤交通費補助

5. 任期

専任教員は任期なし。

教員（有期）は最長 5 年（単年度契約）。

教員（有期・テニュアトラック）は最長 5 年（単年度契約）とし、任期中の審査により専任教員（任期なし）に移行する場合がある（博士の学位取得を移行の条件の 1 つとする）。

6. 勤務形態

常勤

7. 人員

1 名

8. 研究分野

グローバル化の進展、新興国の台頭、情報通信技術の革新は、世界政治の新たな仕組みとルールの形成を必要としている。また地域の実情に即して国、地方、コミュニティでの統治も模索されている。こうした複合的な国際環境を、諸学問領域の統合かつ実践的な把握と活用を通じて考察し、提示することが、SFC における国際戦略領域の教育研究の特徴である。以上の認識をふまえ、国際戦略と韓国地域研究を横断する分野を専門とする教員を募集します。

9. 担当科目

国際戦略・韓国地域研究に関する学部と大学院の科目および研究会等

10. その他の業務内容

塾内各種委員会、諸会議への出席等

11. 応募資格

①慶應義塾ならびに SFC の教育と研究理念に共感できる。

②自らの専門分野に関する博士の学位を有するか、着任時までに取得していることを原則とする。博士の学位未取得者を採用する場合、その職位は、原則、教員（有期）または教員（有期・テニュアトラック）となる。

③国際戦略と韓国地域研究を横断する分野の教育、研究、社会実践活動において、将来

性を期待できる優れた業績を有する。

④英語を教育・研究において用いることができる（通常、英語による授業を 1 科目担当頂いています）。

⑤国内外の大学や研究機関などとのネットワークを有し、国際的な研究を推進できる。

⑦自らの専門領域だけではなく、分野を越えたコラボレーションを推進できる。

⑧着任後、日本に在住し、SFC に通勤できる。

12. 着任時期

2026 年度または 2027 年度

13. 応募書類

以下の書類一式を WEB エントリーシステムから電子媒体で提出。書類はすべて PDF 形式指定とする。

【WEB エントリーシステム】

<https://entry.jinji.keio.ac.jp/index.php?id=20252>

①学歴・職務経歴書（様式自由。A4 版 1 枚。専門領域、教歴を含めること）

②研究業績一覧表（発表論文、書籍、口頭発表、担当授業など）

③3~5 点の主要論文の抜き刷りまたは制作物の写し

④これまでの研究・教育・社会実践に関する説明（特色ある研究・教育活動や社会実践の実績など）様式自由。

⑤今後の SFC での教育・研究に関する展望、及び自ら主体的に取り組みたい SFC への貢献の構想をまとめたもの（様式自由）。

⑥推薦書（2 名） ※推薦者から以下の URL から推薦書を提出

（ファイル名は「応募者氏名_推薦者氏名.pdf」）

<https://forms.gle/i1FYZXLAhDqRPu6g8>

ファイル名の例：応募者が慶應太郎、推薦者が藤沢花子の場合

TaroKeio_HanakoFujisawa.pdf

14. 書類提出締切

2025 年 6 月 16 日（月）13:00

15. 選抜プロセス及び採否の決定

書類審査、第一次面接、第二次面接を経て採否の決定を行う。ただし、選考過程における採用決定に関する情報は非公開とする。なお採否は選考過程終了後、応募者各位にメールで通知する。

16. 問い合わせ先

慶應義塾湘南藤沢事務室 総務担当人事採用室

jinji-fro@sfc.keio.ac.jp

17. SFC についての情報

<https://www.sfc.keio.ac.jp/>

18. (参考) 期待される人物像

①独立自尊、半学半教、実学といった慶應義塾の理念や、問題発見・解決、実践知の創造といった SFC の理念に共感し、卓越した研究と実践の能力を持ち、躬行実践を重視される方。

②「未来を創る大学」である SFC でのコラボレーションを通して、新しいアカデミズムの開拓と価値創造、社会実践に貢献できる方。

③SFC の学生が持つ「学問を通じて自らを育て、未来と社会への深い洞察から、問題の発見と、イノベーションを創出するアプローチの構築を行い、自ら率先して問題の解決に取り組む活動を通じて、自らの成長を促す」といった基本動作の重要性を理解する方。また、そういう学生の活動に強く関与する意識を持つ方。特に、学生自身がプロジェクトを設計・実行・管理できるための組織やリーダーシップ等に関する素養やスキルを涵養する能力と意欲をもつ方。

19. その他

【安全保障輸出管理について】

慶應義塾は、「外国為替及び外国貿易法」等に基づく安全保障輸出管理を行っています。それにより、採用決定後においても、希望する教育や研究ができない場合があります。

※詳細については、以下の経済産業省のウェブサイトを参照してください。

《経済産業省ウェブサイト》 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>

2025年3月
慶應義塾大学
総合政策学部長
環境情報学部長
政策・メディア研究科委員長